

氏 名：長岡 秀則

派遣元：東京都 福生市

派遣期間：R2.4.1～R2.6.30

所 属：地方・訓練担当

令和2年4月1日～6月30日までの3か月間、地方・訓練担当の業務に携わりました。自分にとっては、防災の勉強というよりは、仕事力のトレーニングの側面が強く、自分の力不足に打ちのめされることもありましたが、その分鍛えられた3か月間だったと感じております。

当初から、コロナにより多くの研修業務が延期・中止になるなか、代替手段を模索し、いくつかの研修を実現できたことは、自信にもつながりました。

国の業務のスピード・精度・スケールは、どれも自分の視野や価値観を大きく変えるもので、貴重な経験です。

第一四半期ということで有明は受講できておりませんが、今後も精進を重ね、ここでの経験を派遣元へ還元してまいります。

氏 名：阿部 翔太

派遣元：宮城県 石巻市

派遣期間：R2.7.1～R2.9.30

所 属：地方・訓練担当

宮城県石巻市から本研修に参加し、地方・訓練担当で業務に携わらせていただきました。本研修が始まってすぐに令和2年7月豪雨が発生し、内閣府調査チームとして私も熊本県に2週間派遣され、国のスピード感のある災害対応を経験させていただきました。他にも、政府本部運営訓練への参加や各種研修の受講、防災施設見学を通じて多岐にわたる内閣府防災の業務を学ぶことができました。

東日本大震災から9年半が経過し、時間の経過とともに防災意識が薄れていくことが危惧されている当市に本研修で学んだことをフィードバックし、防災行政に貢献できるよう努めていきたいと思っております。また、ここで出会った多くの防災関係者との繋がりも大切にしていきたいと思っております。

氏 名：阿部 広彦

派遣元：宮城県 石巻地区広域行政事務組合

派遣期間：R2.7.1～R2.9.30

所 属：地方・訓練担当

令和2年7月豪雨による、内閣府調査チームの一員として熊本県へ派遣されました。豪雨災害の恐ろしさを地元住民へ伝えることで、防災意識のさらなる高揚を図りたいです。

9月1日「防災の日」総合防災訓練では、閣僚が参加する訓練の裏方として準備・運営にあたりました。報道にも大きく取り上げられるなど、全国的にも注目度の高い訓練に裏方として参加できたことは、貴重な経験になりました。

通常業務、災害派遣、各種研修を通じて、かけがえない経験をさせていただくとともに、たくさんの方との繋がりを持つことができました。この経験・繋がりを、派遣元での業務遂行に活かす所存です。

氏 名：池田 純

派遣元：埼玉県 上里町

派遣期間：R2.7.1～R2.9.30

所 属：地方・訓練担当

研修担当として、OJT研修の企画・運営を担当しました。「防災スペシャリスト養成」企画検討会では、有識者が集まり、より多くの自治体職員に研修を受講してもらい、防災に携わる職員の知識向上を図るため、議論する姿を目の当たりにしました。こうして作り上げられてきたものを、「研修」として受講していたことに、驚きと喜びを感じました。また、7月豪雨による熊本県への派遣では、実際に避難所運営に携わる自治体職員から、現場の生の声を聞くことができました。3カ月間という短い期間ではありましたが、貴重な経験の数々を積むことができ、人とのつながりを築くことができたことは、私の大きな財産となりました。今後は、この経験を少しでも派遣元に還元できるよう、努めていきたいと思っております。

氏 名：石川 周

派遣元：神奈川県 二宮町

派遣期間：R2.10.1～R2.12.31

所 属：地方・訓練担当

私は令和2年10月から12月までの3ヶ月間、地方・訓練担当でお世話になりました。この3ヶ月間で九都県市合同防災訓練と緊急災害対策本部運営訓練について、訓練の計画に携わらせていただいたことで、今後様々な訓練などを計画する際に役に立つ視点を学ぶことができ、通常業務においても情報共有の大切さなどを再認識しました。

また、OJT研修を通じて、様々な立場の防災関係者と知り合うことができました。

こうした学びや出会いを、町の防災体制の強化や自身のスキルアップに活かして参りたいと思います。

氏 名：中町 優太

派遣元：群馬県 高崎市

派遣期間：R2.10.1～R2.12.31

所 属：地方・訓練担当

私は令和2年10月から令和2年12月までの3ヶ月間、研修生として内閣府防災地方・訓練担当の業務に携らせていただきました。主に、緊急対策本部運営訓練を担当させていただき、訓練実施に向けた業務を行う中で、多くのことを経験させていただきました。

また、担当の枠を超えて様々な訓練に参加させていただき、図上訓練の重要性を改めて痛感しました。3ヵ月という期間はあまりに短く、生活のリズムに慣れ始めたところで期間満了となりましたが、皆様にご指導いただいたことや研修で学んだことを市に持ち帰り、今後の業務に活かしていきたいと思えます。

氏 名：山崎 元博

派遣元：埼玉県 入間市

派遣期間：R2.10.1～R2.12.31

所 属：地方・訓練担当

地方・訓練室で、同じOJT研修員として在籍されている方を対象に、研修の企画・運営を担当しました。主に、国土地理院や防災科学研究所の見学や総務省など防災関連省庁の講座の調整を行いました。それらを通じて、市というミクロの視点からでは見えなかった防災行政のつながりを知ることができたことは大きな収穫です。この知見を派遣元に戻った後も十分に活かしていきたいと考えています。

また、研修を通じて得た全国の防災関係者とのネットワークを、今後の業務に役立ていきたいと思えます。

氏 名：新井 敦偉

派遣元：埼玉県 志木市

派遣期間：R3.1.1～R3.3.31

所 属：地方・訓練担当

私は地方・訓練担当として、主に緊急災害現地対策運営本部訓練や令和3年度総合防災訓練大綱策定業務、新型コロナウイルス感染症に配慮した避難所開設・運営ガイドライン事例収集に携わりました。

特に印象に残っているのが、災害時は地方自治体だけではなく、様々な国の機関から強力な支援があることをこの訓練を経験し、学びました。加えて、訓練を実施する調整を行う中で、顔のみえる関係も作成できたと感じています。

また、福島県沖を震源とする地震では夜間招集を経験し、発災時から国の対応のスピードに驚かされました。自分自身も首相官邸で行われる関係閣僚会議の準備に携わるなど、この期間で経験できたことをうれしく思います。

3ヶ月という短い期間ではありましたが、この経験を埼玉県志木市の防災行政に活かしていきたいと思えます。

氏 名：屋良 剛

派遣元：沖縄県 那覇市

派遣期間：R3.1.1～R3.3.31

所 属：地方・訓練担当

私は 53 歳という年齢で OJT 研修に参加しました（最年長）。研修当初は、緊張と高齢というプレッシャーで、倒れそうになりましたが、周りの皆さんの暖かいサポートで、倒れることなく充実研修を起こる事が出来ました。

研修中の 3 か月間は、新型コロナウイルス感染症が蔓延し、国から「緊急事態宣言」が発令され、常時マスク着用、不要不急の外出の自粛などがあり、職員の素顔を一回も見た事がないという規制の中の勤務で、研修の半分はテレワーク、コミュニケーションがとれない状況で苦勞もしましたが、周りの皆さんに助けられ「救助され」感謝しています。

勤務して最初に感じたのが、全職員が一生懸命に仕事をするとする事です。リモートなどを使って精力的に夜も遅くまで弱音を吐かず頑張っている姿に感動しました。

今後は、内閣府で仕事後できた誇りと経験を今後の人生に生かしていきたいと思えます。

氏 名：小塚 充

派遣元：埼玉県 和光市

派遣期間：R3.1.1～R3.3.31

所 属：地方・訓練担当

物事を実施後に検証することの重要性について再認識しました。

市では、多くの事業、研修、訓練を開催していますが、終了後の振り返りは簡易に形式的に行っているのが多いと感じます。当研修では、実施後に様々な視点から丁寧に分析を行い、次回はより良いものとする意をととても感じることができました。

また、Skype や ZOOM など利便性が高いシステムが導入されており、業務の効率化が図られていることに驚きました。他にも、市では行われていないテレワークを行うことができ、「働き方改革」についても経験することができました。はじめての異なった組織内の職務でもあり大変勉強になりました。